

発見！白井の仕事人⑬ く分ければ資源、混ぜればごみく 株式会社佐久間

今回は、平塚にある「株式会社佐久間」を紹介します。
(株)佐久間は、1976年(昭和51年)に佐久間社長が30歳を迎えた時「人の嫌がる仕事で社会貢献したい」と考え、教師から転身し、千葉市内で古紙回収業から始めました。

現在、白井リサイクルセンターでは、古紙類、ペットボトル、プラスチック製容器包装、瓶・缶などのリサイクル作業を行っています。



分別作業の様子

それから約40年の年月を経た今、他の会社などのまねをせず、依頼者の要望に耳を傾け、ルールに沿って取り組んできた結果、県内などに13の事業所を持つ、希少な資源再生総合企業に成長しました。

回収した資源ごみは、作業員が4〜5人で異物などを除く分別作業を行い、ペットボトルや作業服などへの再商品化が可能となるように中間処理をしています。



株式会社佐久間

同社が所有する施設のうち「白井(開設当時は印刷資源リサイクルセンター)」があります。

同センターは、平成13年にプラスチック製容器包装類が分別回収されることになったことから、白井・印西両市との連携・協力によって、同年

問 商工振興課商工振興班
内線 3243

発見！白井の仕事人⑭ く地元の新鮮野菜などを販売く JA西印旛農産物直売所「やおばあく」

今回は、新鮮野菜を中心に、地元で生産された農産物などを取り揃え販売する、JA西印旛農産物直売所「やおばあく」を紹介いたします。

やおばあくは、市特産のナシや自然薯を始めとして、野菜では、ネギ、小松菜、ニンジン、ジャガイモ、タマネギ、ホウレン草、大根、ゴボウ、キュウリ、トマトなど、果物では、ブドウ、キウイ、洋ナシ、リンゴ、カキ、イチゴなど、季節ごとに豊富な種類を取り揃えています。

特にナシについては、8月から10月頃まで販売され「幸水」「豊水」「新高」など有名なものから、市場にあまり出回らない「あきつぎ」や「新興」「かおり」「あたご」などもあり、生産者ごとに試食も行っているため、同じ品種でもそれぞれの味の違いを楽しむこともできます。

地元の野菜や果物は、ほとんどが朝に収穫したもので、鮮度が良く長持ちし、おいしいと評判です。



JA西印旛農産物直売所「やおばあく」

そのほか、市のふるさと産品に認定されている「落花生最中」や「天どら」のほか、市内で加工されている商品を中心に、さまざまなものも販売しています。

また、昨年「梨狩り」や、トウモロコシ、ソラ豆、ジャガイモなどの収穫体験イベントを開催しました。収穫したものをその場で食べることで、参加者と地元の農家が交流しながら、楽しくイベントを行っています。



やおばあくの友山店長に話を伺うと「現在協力いただいている農家などの出荷者が80人います。やおばあくでは、安心、安全で新鮮な農産物を販売し、収穫体験のできる直売所として、スーパーなどではできない取り組みを進めている、お客様と農家を繋げる憩いの場としていきたいです」と話してくれました。

皆さんもおばあくで、地元の新鮮でおいしい旬の農産物を味わってみませんか。

問 商工振興課商工振興班
内線 3241

発見！白井の仕事人⑮ く新橋・横浜間の汽車塗装から 塗装一筋で144年く 株式会社中村塗装店

今回は、白井工業団地のほぼ中央、中交差点付近にある塗装業界の老舗「株式会社中村塗装店」を紹介いたします。

中村塗装店は、1870年(明治3年)に東京の新橋で創業し、初代創業者中村八十吉氏が、明治5年に日本最初の汽車塗装に従事して以来、塗装一筋で歩んできました。



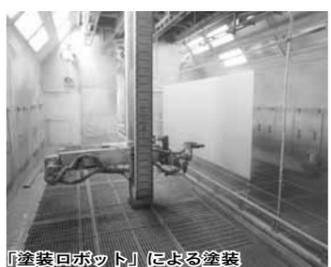
開業当初の鉄道(横浜)の様子

その塗装技術が「東芝」の創業者田中久重氏から認められ、それ以降は、同社の機器製品の塗装を請負っているそうです。

その後、建築塗装を手掛ける事となり、日本銀行、鹿鳴館、三井・三菱本社、帝国劇場、明治神宮、国会議事堂など、明治を代表する建築塗装も行いました。

近代建築物では、日本最初の超高層ビル「霞ヶ関ビル」の外装塗装から始まり、丸ビルなどの数々の超高層ビルを手掛け、近年では、お台場のガンダム像(白井工場で塗装)や浦安市にあるテーマパーク、歌舞伎座、ユニクロ本社、星野リゾート本社ビルなどを手掛けました。

その塗装技術は、改修塗装や橋の防食・防錆、発電所など



「塗装ロボット」による塗装

どのプラント施設などで、幅広く発揮しています。

昭和43年には白井工業団地内に、国内最大規模の「アルミカーテンウォール塗装工場」を設け、本業界においてトップシェアを誇っています。

このように実績のある同社は、白井工業団地内にも製品物の仕上げ塗装などに利用されている企業も多くあり、絶大な信頼を得ています。

塗装業界では最初に「ISO9001」を取得し、環境に配慮した粉体塗装や、光触媒塗装などの研究を進めているとのことでした。

最後に今後の抱負について大野工場長に話を伺ったところ「お客様を大切にするという企業理念を引き継ぎ、技術者を育成して行きたい」とのことでした。

皆さんが呼かけて立ち寄ったところにも、中村塗装店が塗装した場所があったかもしません。

問 商工振興課商工振興班
内線 3241